

# 設立趣意書・基本理念

## 社団法人静岡青年会議所 設立趣意書

清水青年会議所は1952年に、静岡青年会議所は1954年にそれぞれ設立され、「明るい豊かなまちづくり」という高き志のもと、社団法人化を経てその時代の時代感を反映しながら、地域経済や文化の復興、青少年の健全育成などの多様な事業を推進し、地域社会の発展に大きな努力を積み重ねてきました。

しかしながら、2003年4月の静岡市及び清水市の合併による新静岡市の誕生、2005年4月の政令指令都市への移行、さらに2006年3月に行われた蒲原町との合併等、静岡市及びその周辺地域の構造にも大きな変化が生じています。

今後、日本の中心に位置し、良好な自然環境と産業活力に恵まれたこの地域を、次代と担う子供達のためにも、より個性と魅力あふれるまちに形成するという私達の大きな目標を達成するには、少子高齢化の一層の進展による人口減少社会の到来や地域構造の変化を踏まえ、これまで以上に地域に密着した力強い活動を行っていく必要があります、事業内容の拡大や多様化、組織の強化が不可欠になっています。

こうした問題意識のもと、両青年会議所が合同で、地域の更なる発展と青年会議所の将来について検討を重ねてきた結果、一日も早く新しいまちづくりに向けてベクトルを合わせ、既存のネットワークと組織力をより強固にするとともに、新たな取り組みをすることによって組織を活性化させ、地域に対して活力を与えていく方向で一致しました。

そこで、青年としての英知と勇気と情熱をもち、静岡市及びその周辺地域の政治、経済、社会及び文化の研究、審議及び実践並びに関係団体との協力を通じて、地域社会の発展に努め、さらに、国際的相互理解及び親善を助長することで、世界の繁栄と平和に寄与するため、社団法人清水青年会議所と社団法人静岡青年会議所を発展的に統合し、任意団体駿河青年会議所のメンバーも加えて、新しい社団法人静岡青年会議所を設立しようとするものであります。

## 基本理念（設立宣言文）

『静岡青年会議所は静岡市において、真の地域主権型社会の実現に向けて、個と公の調和のとれた自立した個人を確立し、地域の人々との協働を通して、歴史と伝統に根ざした心豊かな活力あふれるまちを創造します。』

### 基本理念の説明

#### 静岡青年会議所は静岡市において

青年会議所の運動・活動は、あくまでもこの静岡市に根差したものです。

この新しく生まれたまちをさらに発展させるために、速やかにまちの一体感を醸成することをもくきとして、運動を展開していくこれからの自立したまちづくりを目指していきます。

#### 真の地域主権社会の実現に向けて

これからの明るい豊かな社会を実現するためには、従来の中央集権的発想で、国を頼りにするのではなく、自立した地域、自ら決断し、自ら責任を取る「地域主権型社会」を実現していくことが必要です。

#### 個と公の調和のとれた自立した個人を確立し

自立したまちをつくりあげていくことを目的として行動していく私たちに一番必要なこと。

まず、私たち自身が真に自立することでしょう。

しかし、その自立は、自分勝手、あるいは、周りとの調和が無いものでは、意味がありません。

個人の意識と、社会人として持つべき公共性を高いレベルでバランスをとって行動する。

私たちが率先して意識し、個人レベルで実現していくことが大切であると考えます。

#### 社会の人々との協働を通じて

私たち青年会議所の行う「まちづくり」をよりよいものにしていくためには地域の人々との協働なしには、実現できません。

#### 歴史と伝統に根差した

変化の大きな時代にあるほど、目の前の「変わること」にめを奪われてしまうものです。

しかし、私たちには親や、祖父母がいます。また、青年会議所には、多くの先輩方がいます。

このまちをつくり、守ってきてくださった先人がいます。

このまちの歴史や文化を意識することが、地域のアイデンティティーを確立させ、これからのオンリー・ワンのまちづくりへの礎となることでしょう。

#### 心豊かな活力あふれるまちを創造します

これから先、どんなに立派な建物や、景観を得ることができても、そこに住む人々の心が荒んでいたのでは私たちの目指す「明るい豊かな社会」にはなりません。誰もが、人として当たり前の正義を持ち、隣人を思いやり、心豊かな人づくりをしていくことも私たちの目指す「明るい豊かな社会」のテーマになるでしょう。

青年会議所メンバー一人ひとりから始まり、この地域に住む人々に人間としての心の豊かさを伝えていくことも大切であると考えます。

私たちのめざす「まちづくり」の根幹を、基本理念の最後の文章としたいと思います。